

図書館通信



豊かな時間を図書館で

平成30年

12



月号

第453号 (第37巻第9号)

【目次】

P 1	年末年始休館のご案内	P 6	職員コラム
P 2	行事と展示のお知らせ	P 7	職員のおすすめ本
P 3	事業報告	P 8	新着図書案内
P 4	アーニス分館だより	P 12	カレンダーとお願い、 図書館施設のご案内
P 5	市民のひろば		

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

電話 (0143) 85-4324

FAX (0143) 85-4325

年末年始休館のお知らせ

登別市立図書館・アーニス分館・移動図書館車・鷺別配本所・登別配本所は
2018年12月31日(月)～2019年1月5日(土)
の期間は**休館**いたします。

*年末年始の休館中、返却用ブックポストは利用できません。
ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。



*登別温泉配本所は年中無休のため上記の期間中も開館いたします。
ご予約の本のご用意などが遅れる場合があります。ご了承ください。

*2019年1月の第1週は年始のため休館となっております。これに合わせて、
こぐま号の巡回日程が変更されています。通常第1・3週のステーションには
第2・4週、第2・4週のステーションには第3・5週に巡回致します。
詳しくは各図書館やこぐま号にある巡回日程表をご確認ください。

今年も図書館をご利用いただきありがとうございました。
来年もみなさまのご来館をお待ちしています。

映画会

※会場はいずれも図書館3階の会議室です。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

こども映画会 日時 12月1日(土) 午前10時30分より(26分)
タイトル がんばれスイミー(アニメ)

名画鑑賞会 日時 12月1日(土) 午後1時30分より(118分)
タイトル ローマの休日(洋画)

イベント・講座

※会場及び申込先：登別市立図書館

①ビブリオバトルの夕べ・・・共催 いぶりびぶりぶ♪ 松田靖子さん

お茶を飲みながら、お気に入りの本の紹介を楽しみます。

開催日時 12月 6日(木) 午後6時～午後7時30分

 **申込不要**

②クリスマス工作「トナカイのこものいれをつくろう！」

└ 講師 登別市立図書館職員

年長児～小学生を対象とした、牛乳パックを使った工作教室です。(定員10名)

開催日時 12月 8日(土) 午前10時30分～正午

申込期間 11月20日(火) 午前10時より ※定員になり次第、受付終了


申込制

③お正月かざり工作・・・主催 おはなしぽけっと

小学生を対象とした、お正月飾りの工作教室です。(定員10名)

開催日時 12月22日(土) 午前10時30分～正午

申込期間 12月 8日(土) 午前10時より ※定員になり次第、受付終了


申込制

おはなし会

※会場：①図書館3階会議室
②図書館1階のえほんのへや

①おはなしくれよん(わらべうたと手あそび)

日時 12月12日(水) 午前10時30分より

②おはなしぽけっと(絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど)

日時 12月22日(土) 午後1時30分より

※今月は工作教室開催のため「えほんのへやのおはなしかい」はお休みです。



ロビー展示

『小学生の読書感想画コンクール入選作品展』

展示期間 12月9日(日)～12月22日(土) ※最終日は午後4時まで

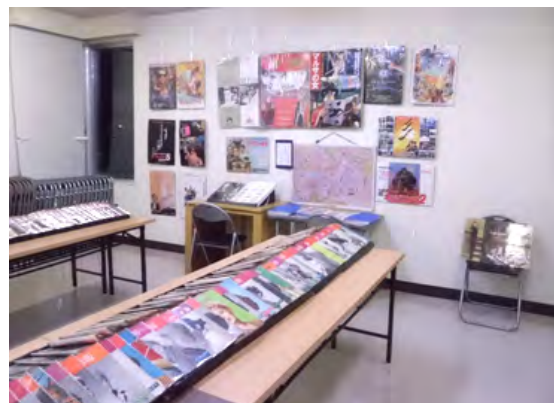
展示場所 図書館1階 ロビー

事業報告

読書週間記念事業「マイ・コレクションブックetc展」を開催しました

10月27日（土）から11月2日（金）までの期間、市民や団体の方々の御協力により、これまで収集した年代ものの雑誌をはじめ、映画のポスターや入場券、マッチのラベルなどといった印刷物を展示する「私のコレクション・ブックetc展」を開催しました。

会場となった図書館の会議室は、まるでタイムスリップしたかのようにノスタルジックな雰囲気に包まれ、来場された方々からも大変好評でした。



《来場者の感想》

- ・タイムスリップの一言につきます。このコレクションを集めた方もすごいです。展示して頂き感謝です。一冊ずつ、じっくり読みたいですが、きっと、なつかしさとよみがえってくる思い出でいっぱいになるでしょうね！（女性・67歳）
- ・とても素敵な展示会でした。たくさんの人に見てもらいたいです。花森安治さんが好きなので、彼が手がけた「暮しの手帖」を見ることができて、うれしいです。（女性・41歳）
- ・すばらしく、年代がわかり、歴史がわかり、楽しくて、時間を過ごさせていただいた。（男性・76歳）

※掲載したほかにもたくさんのご感想を頂きました。ありがとうございます。



アイヌ文化講座「ホロベツアイヌの群像」を開催しました

11月3日（土）、アイヌ文化活動アドバイザー 富樫利一さんを講師にお招きして、アイヌ文化講座「ホロベツアイヌの群像」を開催しました。

昨年度からの連続講座第4弾となる今回は、富樫先生の著作にも登場する金成太郎をはじめ地元の幌別にスポットを当て、その記録と記憶を語る講演となりました。

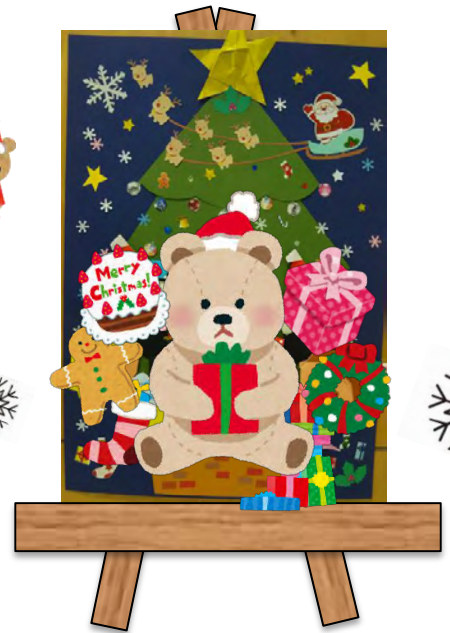


シリーズで開催してきたアイヌ文化講座も、いよいよ佳境です。次回の開催については図書館通信などでお知らせ致しますので、これまで参加したことがない方も是非お越しください。

アーニス分館だより

アーニス分館では

- * 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- * オンライン・データベースを利用できます。
- * DVDを視聴できます。
- * 見やすい大活字本もあります。
- * 貸出が済んだ本は、アーニス分館入口前の「お休み処」で読む事が出来ます。



アーニス分館の“雑誌紹介” ◆育児雑誌3誌をご紹介します。



「たまごクラブ」：妊娠・出産の情報誌。準備グッズや名前事典などの付録あり。
毎月15日発行。



「ひよこクラブ」：育児の情報誌。離乳食、ねんね、病気や事故予防などの付録あり。毎月15日発行。



「Kodomoe」：料理、おもちゃ、おでかけ、絵本などの「親子時間」を楽しむ育児情報誌。ミニ絵本の付録も。奇数月7日発行。

『最新！離乳食』など書籍もあります！

《新刊おすすめ本紹介》

子どもの走り方トレーニング / 木村 匡宏 編著 / 東洋館出版社



コツとなる動き4つだけを知ることによって、子どもの走りが変わる！運動感覚を伸ばす基本的なトレーニングから、かけっこが速くなるためのトレーニングまで、写真でわかりやすく解説・紹介しています。

昔は足の速い子、遅い子はなんとなく決まっていなかったか？練習やトレーニングで運動能力が劇的に変わるのである。かけっこに自信が持てない子どもたちにおすすめです。簡単な運動なので大人も一緒に試してみてもいいでしょう。

残れるもの

牧師 外崎良子

『解説！アルキメデス写本』は、アルキメデスの写本が見つかって解読されたという経緯の書です。

時代はかなり前にさかのぼりますが、羊皮紙（ようひし）の再利用（パリンプセスト）の中にアルキメデスの写本があるといううわさがありました。その後紆余曲折を経て写本は修道院の祈祷書（13世紀）の中にあることが判明。そこから消された文字を復活させる「プロジェクト」が始まりました。1999年アメリカのボルティモアで解読が始まり約6年かかりました。ちなみに日本の貢献は和紙でした。

そのなかで大変興味深かったのは、アルキメデスとアレキサンドリア図書館長コノスとの関係です。アルキメデスはシチリア島に、コノスはエジプトのアレキサンドリアにいました。彼は手紙のなかで「自分を理解してくれる人はコノスしかいない」と後任の図書館長に嘆いています。というのは彼の死は相当こたえていたからです。この後任も、アルキメデスの研究論文手紙を図書館に保管しました。彼の論文はここで写本の形をとって学者たちにわたされました。彼はこの時、「あの学者たちには理解できないだろう」といっています。その文脈でコノスをたたえていたのです。

アルキメデスを理解する人がいた！しかも2300年前に！一芸に秀でている人はそれなりに個性が強いはずです。そういうコノスもかなり個性的な人ではなかったかと思います。贅沢は言わない。ひとりで良い。本当によき理解者を得ることはどんなに大事なことか。今日私たちは写本をとおして彼の数学の才能を目の当たりにできるのですが、コノスがいればこそです。消されたギリシャ語がパリンプセストに浮き出た。その美しいこと。

今日でも彼を研究する人は数少ないです。世界で学者は20数名しかいないといわれ、その中に日本人がひとり含まれています。お金になりませんが、人類に多大な貢献をする学問です。

時を同じくして聖書の原典がアレキサンドリアでギリシャ語に翻訳されました。『70人訳』です。70人の学者たちによって翻訳されたことに由来しています。これも写本によって今日私たちはそれをみることができます。


死海写本を目の当たりにしたときも、書記の筆はなんとさえていることかと感心したものです。素人ではなくその道のものが書いたことがわかりました。

羊皮紙に写本をするにはそれだけの価値があるとみなさなければなりません。とにかく高価だったのですから。

そのようにして今日までに残ったものが古典として名を残すことになりました。たったひとりの理解者によってアルキメデスは生きのびました。図書館の役割は何と大きいことでしょう。

『はだしのゲン』が図書館から排斥されることなく、しっかり残りました。これはコノスに匹敵する役割を果たしたのではないかと思っています。

職員コラム

 アーニス分館担当 Mitchy Mouse



コーヒーを飲みながらゆったり読書！生活感溢れるこの家では中々そうはいかないものである。 私の妄想が始まる・・・
ふわ〜っとコーヒーのいい香り、机の上にはお気に入りの本の事だけ考えて読み耽るそんな図書館があったら良いなあ〜！



10月7日、札幌の街中に札幌市図書・情報館がオープンした！
絵本や小説が無く貸出もしないが、会話も出来てコーヒー片手にのんびりできる。
図書館のイメージを変える新しい図書館であった。

絵本や小説が無いのは少々寂しい気もするが・・・

貸出もしない、そして1階のカフェスペースに私は興味津々だった。 行ってみよう！





札幌に遊びに行くのは何年ぶりだろう・・・すっかり浦島太郎だ ツアー客の様にアーニス分館のスタッフに付いて行くことにした(笑)

バスを降りると立ち並ぶビル、一際高く新しいビルの中にその図書館がある。

自動ドアが開くと広い空間が迎えてくれた。 右に1階の図書館。

中に入ると壁に大きなテレビと沢山の椅子やテーブル、まるでホテルのロビーの様だ。

情報館の名の通り札幌を知るための雑誌や本が並び、ジャズが心地良く流れていて、ゆったりした気分で本を読む人達がいた。

早くに着いたお陰で、私達は併設するカフェにも入ることが出来た。  **コ-ヒ-タイム** 
そこにもジャズが流れ、本を読んでいる人は見かけなかったが、図書館の本を持ち込んで読むことが出来る様になっていた。 なかなか良い雰囲気である。

カフェから出て2階の図書館へ向かうと図書館の前の広いスペースには椅子、ちょっと作業も出来そうなテーブルが窓際に並んでいる。

東屋の様なスペースもあり沢山の人が集っていた。

さあお待ちかねの図書館だ！ 入ってみると驚いた！

図書館と言えば本棚に本がぎっしりと並んでいるイメージだが、小説や絵本が無いせいかどの棚にも余裕があり、アートな感じでおしゃれに並んでいる。

返却棚がいくつもあり、手に取った本を至る所にある座り心地の良いソファで読むことが出来る。どの場所で読んでも元の場所に本を返さずに済むのが便利だ。

スタッフがいつも巡回しているのだろう。 返却棚に2~3冊置かれたと思ったら、次の瞬間にはもう1冊もなかった。 素晴らしい！ 

本棚の見出しも細かく付けられ、本を見つけやすく、新聞の種類の高さにも驚かされた。


作業のできるスペースはほとんど予約で、外からの音が入らない様に扉があり、多くの人々が自由に会話をしながら行き来する中でも集中できそうだ！

“こんなあったら良いなあ〜！” が1つカタチになった大人向けの図書館。

確かに“新しい図書館”に驚きとワクワク感を感じて帰ってきた。

人によって図書館の使い方は色々。

商業施設の中にあるアーニス分館にも音楽は流れて来る。

そして、可愛らしい子供達の声も 

カウンター越しに交わされるお客様との会話は、私達にとって勉強の場であり、ふれあいの場。

“寒くなってきたね！風邪ひかないようにね！” そんな言葉にほっこりと心が温まる。

さあ開館だ！！ 今日、どんなふれあいが待っているだろう？



わたしのおすすめ本

今月の担当者 TKJ

『本日は、お日柄もよく』 原田マハ 著 / 徳間書店



幼なじみの結婚式に出席した主人公は、そこで涙が溢れるほど感動する衝撃的なスピーチに出会います。その祝辞を披露したのは伝説のスピーチライターでした。空気を一変させる言葉に魅せられてしまった主人公はすぐさまその伝説のスピーチライターの元へ弟子入り。そんな主人公のスピーチライターを目指して頑張っていく姿を描いたお仕事小説です。

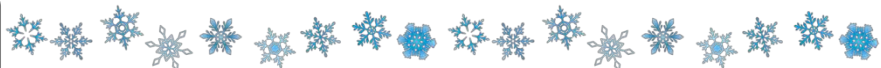
私はスピーチの予定などまったく無かったのですが、一風変わったデザインとタイトルに惹かれ、手に取りました。

読みやすい文体でサクサク読め、あっという間に読み終わり、すっきり爽やか、心が温かく前向きな気持ちにさせてくれるストーリーでした。

スピーチの素晴らしさ、言葉の持つ豊かさや力を改めて感じる事ができ、出会えてよかったと思える一冊です。

「スピーチの極意 十箇条」なるものも書かれていますので、今後スピーチの予定がある方は、ぜひ参考にしてみてくださいはいかがでしょうか。

郷土資料紹介



『雪の結晶図鑑』 菊地勝弘、梶川正弘 著 / 北海道新聞社



「雪博士」中谷宇吉郎の孫弟子で日本南極観測隊員でもある研究者たちが、北海道はもちろん、北極から南極までの世界中に降る雪を観測するとともに、結晶を撮影して誕生した、世界初の雪の結晶のカラー写真図鑑です。

雪の結晶は千差万別で、二つと同じものはないそうです。とても綺麗で美しく、飽きることなく、いつまでも見続けていられる図鑑です。

新 着 図 書 案 内 平成30年12月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
0 総記		● 上皇の日本史	本郷 和人
● 奇跡の本屋をつくりたい	久住 邦晴	魔女・怪物・天変地異 近代的精神はどこから生まれたか	黒川 正剛
トコトンやさしいIoTの本	山崎 弘郎	影の日本史にせまる 西行から芭蕉へ	嵐山 光三郎
図書館利用に障害のある人々への サービス 上・下	日本図書館協会障害 者サービス委員会	10代に語る平成史	後藤 謙次
全国旅をしてでも行きたい街の本屋さん	G. B.	新編鳥島漂着物語 18世紀庶民の無人島体験	小林 郁
文藝春秋作家原稿流出始末記	青木 正美	国民が知らない上皇の日本史	倉山 満
コンピュータ、どうやってつくったんですか?	川添 愛	奇跡に会う日本の新絶景	洋泉社
1 哲学・宗教		3 政治・経済・社会・教育	
恐怖を知らない人たち	アビゲイル・ マーシュ	キミのお金はどこに消えるのか	井上 純一
アラカン・サバイバルBOOK	槇村 さとる	物語でわかるAI時代の仕事図鑑	竹内 一正
親鸞への接近	四方田 犬彦	経済学の名著50冊が1冊でざっと学べる	蔭山 克秀
50歳すぎたら、「まあ、いいか」「それがど うした」「人それぞれ」でいこう	弘兼 憲史	先生！バナナはおやつに含まれますか？	中野 友貴
● ぼくが子どものころ、ほしかった親になる。	幡野 広志	● 家族のためのユマニチュード “その人ら しさ”を取り戻す、優しい認知症ケア	イヴ・ジネストほか
老子 現代語訳	老子	● マスコミ偽善者列伝	加地 伸行
神社崩壊	島田 裕巳	先住民アイヌはどんな歴史を歩んで きたか	坂田 美奈子
人生に信念はいらない 考える禅入門	細川 晋輔	裏口からの参戦 上・下 ルーズベルト外交の正体1933-1941	チャールズ・ カラン・タンシル
● あなただけの人生をどう生きるか 若い人たちに遺した言葉	渡辺 和子	徳政令 なぜ借金は返さなければならないの	早島 大祐
恐怖の構造	平山 夢明	世界経済入門	野口 悠紀雄
オウム真理教事件とは何だったのか？ 麻原彰晃の正体と封印された闇社会	一橋 文哉	マイペースで働く！自宅でひとり起業仕事 図鑑	滝岡 幸子
2 歴史・地理		すぐに役立つ入門図解最新メンタルヘル スの法律問題と手続きマニュアル	林 智之 監修
● ホモ・デウス 上・下	ユヴァル・ノア・ ハラリ	銀行デジタル革命	木内 登英
江戸無血開城の深層	磯田 道史	「気になる子」のわらべうた	山下 直樹
マリー・アントワネットの暗号	エヴリン・ファー	図説指輪の文化史	浜本 隆志
京都の「違和感」 不動産鑑定士の京都体験	杉本 幸雄	自衛隊イラク日報 バグダッド・バスラの295日間	防衛省 原文・ 志業 玲 監修
日本の古道を歩く 熊野、高野山、山の辺 の道、竹内街道、伊勢、秩父、箱根、日光	平凡社	高校チュータイ外交官のイチから わかる！国際情勢	島根 玲子
日本史の論点 邪馬台国から象徴天皇制まで	中公新書編集部	誠実系人気ホストが教える初対面 でも話が弾むキラーフレーズ50	綾瀬 結希 ・初芝 賢
つくられたエミシ	松本 建速	女子のための「手に職」図鑑	華井 由利奈
● 史上最悪の破局を迎えた13の恋の物語	ジェニファー・ライト	● アフター・ヨーロッパ ポピュリズムという妖怪にどう向きあう	イワン・クラステフ
最後の馬賊「帝国」の将軍・李守信	楊 海英	安倍晋三の真実	谷口 智彦
今こそ学ぼう地理の基本	長谷川 直子	● なぜ倒産 23社の破綻に学ぶ失敗の法則	日経トップリーダー編
教科書には書かれていない江戸時代	山本 博文	日本人とドイツ人 比べてみたらどっちもどっち	雨宮 紫苑
いまいちばん美しい日本の絶景	MdN編集部	社会保障入門	伊藤 周平
● 信長はなぜ葬られたのか 世界史の中の本能寺の変	安部 龍太郎	ジェロントロジー宣言 「知の再武装」で100歳人生を生き抜く	寺島 実郎

新 着 図 書 案 内 平 成 3 0 年 1 2 月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
● ブラック校則 理不尽な苦しみの現実	荻上 チキ	人とどうぶつの血液型	近江 俊徳
太平洋戦争日本語諜報戦 言語官の活躍と試練	武田 珂代子	● カラス屋、カラスを食べる	松原 始
パクチーとアジア飯	阿古 真理	5 技術・工業・家事	
● 暮らしの物語 女たちの想いで繋ぐ日々の記録	「暮らしの物語」 編集委員会	かわいい鳥のエコたわし100 カンタン!かぎ針編み	アップルミンツ
女性と求人情報 女性活躍の時代に向かって1868-2018	渡邊 嘉子	普段着のメンズニット	日本ヴォーグ社
親の葬儀・法要・相続の安心ガイドブック	中村 麻美	● 日本百銘菓	中尾 隆之
● NOでは足りない トランプ・ショックに対処する方法	ナオミ・クライン	ベターホームのチーズ料理	ベターホーム協会
失われゆく日本 黒船時代の技法で撮る	エバレット・ ケネディ・ブラウン	片づけ・収納・掃除・洗濯の教科書	エクスナレッジ
くらべる日本 東西南北	おかべ たかし	LINEがぜんぶわかる本 完全保存版	洋泉社
● 学校に行きたくない君へ	全国不登校新聞社	お父さんのとっておきごはん	猫元 たつや
● 遊廓に泊まる	関根 虎洸	シェフが好きな野菜の食べ方	田代 和久
4 自然科学・医学		身につく料理	星澤 幸子
40億年、いのちの旅	伊藤 明夫	女子の筋トレ&筋肉ごはん	坂詰 真二 監修
自分で治す!老眼・近視	日比野 佐和子	白ごはんが進むおかずBEST200	エイ出版社
ある日、すずめがやって来た。	佐々木 淳子	● 糖質制限もやしレシピ	名水美人ファクトリー
世界一深い100のQ いかなる状況でも本 質をつかむ思考力養成講座	ロジェ・ゲスネリ ほか	● 雪平鍋で2品献立	飛田 和緒
衛星画像で読み解く日本の温泉82	福田 重雄	会いに行ける酒蔵ツーリズム仙台・宮城	KADOKAWA
● 意識の川をゆく 脳神経科医が探る「心」の起源	オリヴァー・サックス	夜9時からの飲めるちよいメシ	サルボ恭子
先生、脳のなかで自然が叫んでいます!(鳥 取環境大学の森の人間動物行動学 番	小林 朋道	日本全国しあわせ喫茶&カフェ探訪	まるやま ひとみ
伝説の入試良問	永野 裕之	ずっとキレイが続く7分の夜かたづけ	広沢 かつみ
● タイムトラベル 「時間」の歴史を物語る	ジェイムズ・グリック	砂糖不使用!野菜と果物だけで作るベジ フル発酵ジュースとレシピ	岩田 麻奈未
図説ホントにすごい!生き物の図鑑	千崎 達也	できる大人の手習い帖iPad知りたい こと100選	エディポック
アルコール依存症から抜け出す本	樋口 進 監修	できる大人の手習い帖アンドロイド タブレット知りたいこと100選	
● へんないきものもよう	早川 いくを	心地良い暮らし着 かつぼう着・エプロン ふだん着 甚平・作務衣 はおり物・はん	ブティック社
管理栄養士と医師が認めた疲れ 即とり酢もやし健康法	望月 理恵子	繕う愉しみ	ミスミ ノリコ
ビジュアル大百科元素と周期表	トム・ジャクソン	ラクして続く、家事テク	牛尾 理恵
● 台風についてわかっていること知らないこと	筆保 弘徳	1枚仕立てのはおりもの 春・夏・秋・冬	日本ヴォーグ社
動物たちの内なる生活 森林管理官が聴いた野生の声	ペーター・ ヴォールレーベン	ゼロトレ 羽が生えたように軽くなる	石村 友見
ときめくクラゲ図鑑	峯水 亮 写真	つゆつきの365日のつまみ細工	土田 由紀子
昆虫のすごい世界	丸山 宗利 監修	超節約ボリュームおかず600	主婦の友社
回転寿司になれる魚図鑑	松浦 啓一 監修	6 産業・商業	
日本の爬虫類・両生類生態図鑑	川添 宣広	西村和雄ぐうたら農法	西村 和雄 監修
日本の食肉類 生態系の頂点に立つ哺乳類	増田 隆一	廃校再生ストーリーズ	美術出版社

新 着 図 書 案 内 平 成 30 年 12 月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
6 産業・商業		913 日本の小説	
犬像をたずね歩く あんな犬、こんな犬32話	青柳 健二	● 七つの試練 (池袋ウエストゲートパーク 14)	石田 衣良
● 晴れた日は鴨を撃ちに (猟師になりたい! 3)	北尾 トロ	悪童(ワルガキ) 小説寅次郎の告白	山田 洋次
amazon 世界最先端の戦略がわかる	成毛 眞	● 愛なき世界	三浦 しをん
世界の美しい公園	パイインター ナショナル	● 僕は金になる	桂 望実
野菜作り「コツ」の科学	佐倉 朗夫	● 国宝 青春篇(上)・花道篇(下)	吉田 修一
牛たちの知られざる生活	ロザムンド・ヤング	● グリーン・グリーン 2 新米教師二年目の試練	あさの あつこ
7 芸術・スポーツ		人さらい	翔田 寛
ふたりのトトロ	木原 浩勝	TAS特別師弟捜査員	中山 七里
絵本をつくりたい人へ	土井 章史	死神刑事(デカ)	大倉 崇裕
広重決定版 没後160年記念	太田記念美術館 監修	ドアを開けたら	大崎 梢
● タンゴと日本人	生明 俊雄	● 到達不能極	斉藤 詠一
● ナナメの夕暮れ	若林 正恭	PIT特殊心理捜査班・水無月玲	五十嵐 貴久
● 阿佐ヶ谷姉妹ののほほんふたり暮らし	阿佐ヶ谷姉妹	● 付添い屋・六平太 11	金子 成人
トミ・ウンゲラーと絵本 その人生と作品	今田 由香	おるもすと	吉田 篤弘
● うつ病九段 プロ棋士が将棋を失った一年間	先崎 学	歌え、汝龍たりし日々を 始皇帝紀	岩井 三四二
思いを伝える和紙のちぎり絵春夏秋冬	森住 ゆき	政宗の遺言	
歌を作ろう! 宇宙でいちばんやさしい作 詞作曲ガイドブック	ミマス	特捜投資家	永瀬 隼介
甲子園という病	氏原 英明	● 地球星人	村田 沙耶香
くよくよしない方 The Power Word by Fuzjiko	フジコ・ヘミング	対岸の家事	朱野 帰子
子どもの走り方トレーニング	木村 匡宏	● 信長の原理	垣根 涼介
幽霊画と冥界	安村 敏信 監修	帝都探偵大戦	芦辺 拓
● 藤田嗣治作品集	藤田 嗣治	愛すること、理解すること、愛されること	李 龍徳
人間黒澤明の真実 その創造の秘密	都築 政昭	鳥居の密室	島田 荘司
仏像と日本人 宗教と美の近現代	碧海 寿広	向日葵のある台所	秋川 滝美
視覚心理学が明かす名画の秘密	三浦 佳世	帝都一の下宿屋	三木 笙子
● 知られざる北斎	神山 典士	永遠についての証明	岩井 圭也
8 言語		玉瀬家、休業中。	まさき としか
必携! 日本語ボランティアの基礎知識	中井 延美	北のあけぼの 悲運を超えた明治の小学校長	沖藤 典子
『日本国語大辞典』をよむ	今野 真二	● 青少年のための小説入門	久保寺 健彦
● 英単語の語源図鑑	清水 建二	今夜はひとりぼっちかい? 日本文学盛衰史 戦後文学篇	高橋 源一郎
英語教育幻想	久保田 竜子	翼竜館の宝石商人	高野 史緒
イラストで覚えるhime式たのしい韓国語 単語帳	hime	● ガラスの殺意	秋吉 理香子

新 着 図 書 案 内 平成30年12月 No.4

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
母のあしおと	神田 茜	ツキマトウ 警視庁ストーカー対策室ゼロ係	真梨 幸子
出版禁止 死刑囚の歌	長江 俊和	秘録島原の乱	加藤 廣
● すぐ死ぬんだから	内館 牧子	● 焦土の刑事	堂場 瞬一
● 静かに、ねえ、静かに	本谷 有希子	9 その他の文学	
● ブロードキャスト	湊 かなえ	シルバー川柳 8	全国有料老人 ホーム協会編
● ボーダレス	誉田 哲也	文学はおいしい。	小山 鉄郎
● 凍てつく太陽	葉真中 顕	働く女性に贈る27通の手紙	小手鞠 るい ・望月 衿子
冷たい檻	伊岡 瞬	● 任務の終わり 上・下	スティーヴン・ キング
一度だけ	益田 ミリ	月光殺人事件	ヴァレンタイン・ ウィリアムズ
ふたりの花見弁当(食堂のおばちゃん4)	山口 恵以子	どこでもない場所	浅生 鴨
骸の鍵	麻見 和史	老いてますます官能的	嵐山 光三郎
洗濯(クリーニング)屋三十次郎	野中 ともそ	鎌倉の家	甘糟 りり子
深夜の博覧会 昭和12年の探偵小説	辻 真先	金子兜太 私が俳句だ(のこす言葉)	金子 兜太
日傘を差す女	伊集院 静	● たそがれてゆく子さん	伊藤 比呂美
歪んだ波紋	塩田 武士	小岩へ 父敏雄と母ミホを探して	島尾 伸三
ある日失わずにすむもの	乙川 優三郎	君の唇に色あせぬ言葉を	阿久 悠
オブジェクタム	高山 羽根子	● 変わったタイプ	トム・ハンクス
● 矢上教授の「十二支考」	森谷 明子	● 最初の悪い男	ミランダ・ジュライ
十津川警部哀愁のミステリー・トレイン	西村 京太郎	奥の細道迷い道 吉行和子・富士真奈美おんなふたり	吉行 和子/ 富士 真奈美
あのとき僕が泣いたのは、悲しかったから じゃない	瀧森 古都	● ヨーコさんの“言葉”じゃ、どうする	佐野 洋子
● 私が誰かわかりますか	谷川 直子	作家と楽しむ古典 好色一代男 曾根崎心中 菅原伝授手習鑑 仮名手本忠臣蔵 春色梅児誉美	島田 雅彦ほか
文字渦	円城 塔	こうしてイギリスから熊がいなくなりました	ミック・ジャクソン
● ふたりぐらし	桜木 紫乃	ほんのきもち	朝吹 真理子
シンドローム 上・下 (ハゲタカ)	真山 仁	心に風が吹いてくる青春文学アンソロジー	高山 実佐ほか
● 襲来 上・下	帚木 蓬生	水の匂いがするようだ 井伏鱒二のほうへ	野崎 歓
つかのまのこと	柴崎 友香	● こころ傷んでたえがたき日に	上原 隆
公園へ行かないか？火曜日に		七〇歳年下の君たちへ	五木 寛之
星をつなぐ手 桜風堂ものがたり	村山 早紀	● 原民喜 死と愛と孤独の肖像	梯 久美子
● ハレルヤ	保坂 和志	三谷幸喜のありふれた生活 15	三谷 幸喜
蝶のゆくへ	葉室 麟	これからの私をつくる29の美しいこと	光野 桃
● むすびつき(「しゃばけ」シリーズ 17)	畠中 恵	● 人生の値打ち	曾野 綾子
『生れ出づる悩み』を読む 有島武郎と木田金次郎のクロスロード	有島武郎・木田 金次郎プロジェクト	ああ、くたびれた。 幻の随筆集	高峰 秀子
● 引火点(組織犯罪対策部マネロン室)	笹本 稜平	トールキンのシングルズとグズルーンの 伝説 注釈版	J. R. R. トールキン

本の水濡れ・破損・汚損について（お願い）

雪の降る季節になると、本が濡れた状態での返却が目立ちます。万が一、雪などで濡らしてしまった場合は弁償になる場合もありますので、お持ちの際に本が濡れないよう袋に入れるなど、工夫して頂けると幸いです。



誤って破いたり、汚してしまった場合は、そのままの状態での返却時にお知らせください。

登別市立図書館

図書館カレンダー 平成30年12月

日	月	火	水	木	金	土
						1 映画会
2	3 本館休館	4	5 クリスマス工作 締切	6 ビブリオバトル 分館休館	7	8 クリスマス工作
9 読書感想画展 (12/22まで)	10 本館休館	11	12 ブックスタート おはなしくれよん	13 分館休館	14	15
16	17 本館休館	18	19 お正月工作締切	20 分館休館	21	22 お正月工作 おはなしほけつと
23 天皇誕生日 本館休館	24 本館休館	25	26 ライブラリー スタート おはなし会	27 分館休館	28 図書整理日 本館休館 分館休館	29
30	31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5
← 年末年始休館 (本館・こぐま号・アーニス分館・鷺別配本所・登別配本所) →						

図書館施設案内

	本館 こぐま号	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	温泉配本所
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	登別温泉町58-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	84-2068
休館日	月曜日・祝日・年末年始 本館：最終金曜日 こぐま号：日曜日	木曜日 最終金曜・年末年始	年末年始のみ		なし
開館時間	10:00～18:00 (木曜のみ19:30)	10:00～20:00	9:00～18:00 (昼休みあり)	9:00～17:30 土日祝 17:00	9:00～15:00